

## 臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	初期卵巣明細胞癌における再発予測因子の後方視的検討
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	小阪謙三
研究期間	2021年1月～2023年12月
対象者	2005年1月より2019年12月までの15年間に当院で治療を受けた初期卵巣明細胞癌の患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	一般に、初期卵巣明細胞癌の患者さんの予後は良好であると考えられていますが、中には再発を経験する方がおられ、いったん再発すると化学療法が効きにくいいため、予後不良となります。これまで再発を予測する方法については知られていないため、再発した患者さんと再発しなかった患者さんの治療前の検査や治療経過を比較し、再発を予測する因子を同定することを目的としています。
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>① 対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・背景因子（年齢、妊娠歴、出産歴など）、</li> <li>・臨床データ（画像検査結果、病理検査結果など）</li> <li>・転帰（再発の有無など）</li> <li>・治療経過（術式や化学療法の有無など）</li> </ul> <p>②各患者さんに識別番号を割り付けて匿名化を行います。収集した情報を記載した調査票にはこの識別番号を用います。患者さんとこの番号を結び付ける対応表は、当院内で厳重に保管し、他施設へは提供しません。</p>
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
研究代表施設・代表者	静岡県立総合病院 産婦人科 小阪謙三

<p>研究組織</p>	<p>京都大学医学部附属病院 万代昌紀          近畿大学医学部附属病院 松村謙臣          大津赤十字病院 藤田浩平          滋賀県立総合病院 村上隆介          長浜赤十字病院 中島正敬          独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 安彦郁          京都桂病院 岩見州一郎          公益財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院 樋口壽宏          独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 巽啓司          大阪赤十字病院 野々垣多加史          大阪府済生会 野江病院 角井和代          神戸市立医療センター 中央市民病院 吉岡信也          兵庫県立尼崎総合医療センター 廣瀬雅哉          公立豊岡病院組合 豊岡病院 住友理浩          公益財団法人 天理よろづ相談所病院 藤原潔          日本赤十字社和歌山医療センター 吉田隆昭          公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院          本田徹郎          高松赤十字病院 後藤真樹</p>
<p>問合せ先</p>	<p>◆その他、この研究に関するお問い合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。</p> <p>静岡県立総合病院 産婦人科 堀川直城          代表 054-247-6111</p>